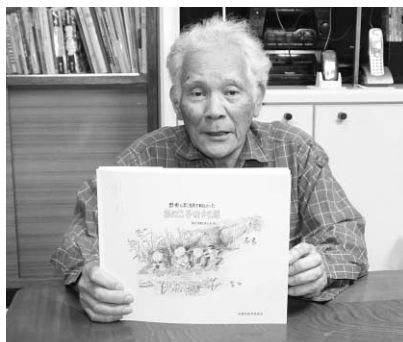


## Pickup!① あらたな「対馬の宝物」ができました

ぬくもりのある対馬方言の「響き」を子どもたちの世代へ

厳原町大手橋で飲食店を営む江崎マス子さんが、対馬の方言でつづった子ども詩集「こうこいも」を出版しました。江崎さんの「対馬」への愛情が詰まった作品です。  
～こうこいも（孝行芋）は対馬の方言でサツマイモ～  
定価1,400円 市内各書店で販売中



地域が家族がたがいに思いあう「あのころの対馬」が描かれています

厳原町日吉の元教員、藤崎利明さんが、太平洋戦争前後の対馬の暮らしぶりをイラストでつづった絵本「あのころの対馬」を出版しました。

藤崎さんから生みだされるやさしい絵と言葉が、心をくすぐる作品です。

定価980円 各地区公民館で販売中

聖人の生涯を対馬の将来・日韓交流を考える「礎」に

対馬芳洲会会長の松原一征さん（厳原町久田道）が、「対馬で活躍した江戸時代の国際人 雨森芳洲の生涯」を出版しました。

「誠信の交わり」「言行一致」「生涯を通して学ぶ」など、芳洲の生涯における姿勢がわかりやすく記された作品です。

定価500円 市内各書店・空港等で販売中



## 人権擁護委員が交代しました

## Pickup!②

法務大臣から委嘱を受け、人権尊重思想の普及高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済する活動を行う人権擁護委員が変わりました。

6月1日には特設相談所を開設します（詳しくは21ページに掲載）。



3月31日をもって退任された武末憲幸さん（左：上対馬町）、阿比留義教さん（右：峰町）には、法務大臣および県人権擁護委員連合会長から感謝状が贈られました。



新任の森田健一さん（左：峰町）、小島俊洋さん（右：上対馬町）の任期は平成23年4月1日から3年間です。